

質問 いさわ南部農地再編整備事業は、景観を残し、さらには生態系にも配慮した先進的な取り組みと評価されています。今後も含めた取り組みを伺います。

市長 豊富な自然環境・農地を守るため、集落・地域ぐるみによる取り組みをこれからも行ってまいります。

質問 将来にわたって自然を守るための環境教育が重要になると考えますが、取り組みを伺います。

教育委員長 今年度は小中学校11校に出前授業等を行っています。水沢エコキッズ授業等の活動も活発に実践しています。

※レアメタル：レアメタルとは資源として量が少ない、もしくは量が多くても産出が難しい金属の総称のことをいう。プラチナ、タンゲステン、レアアース、クロム等で約30種類あり、ハイテク製品には欠かせない素材であり、製品の小型化や性能アップに貢献している。

※都市鉱山：都市でゴミとして大量に廃棄される家電製品等の中に存在する有用な資源（レアメタル等）を鉱山に見立てたもの。

○地域づくりにおける人材育成について
○農産物の流通販売戦略について



おの たかお 小野 寺隆 夫

質問 まちづくりの基本は人づくりであると思います。地域自治の推進にはお金は必要です。しかしそのお金をどう活かすかは人であります。その人材育成は、一朝一夕というわけにはいきません。そこで地域自治の推進にあたり、地域活動を担う人材の育成についてどのように考え、どう取り組みようとしているのか伺います。

市長 地域づくりの人材育成は喫緊の課題であると認識しています。地域活動員等、地域づくりに携わる方々に対し、ワークショップ手法等を活用し研修を取り入れ、知識の習得に加え、実践を通じて参加者が能力向上をはかれるような研修をまいります。

教育委員長 青少年の社会参加活動をはじめ、学びを通じた人づくりが、地域づくりやまちづくりにつながるものと捉えております。

多くの市民の方々に参加をいただけるような魅力のある内容に加え、

人材育成の観点も取り入れ各事業に取り組んでまいります。

質問 農産物の流通、販売戦略の方法として、高速道路サービスエリアの活用を提言します。高速道路は、まさに大都市につながる大動脈であり、サービスエリアを活用しての、地元農産物の普及と活用についてどのように考えるか伺います。

市長 全国の方々に奥州市産の農畜産物のPRや販売を行うためにはサービスエリアの活用はたいへん有効であると考え、今後推進してまいります。

※ワークショップ：参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりする、双方向的な学びと創造のスタイル。

○要介護認定の遅れの改善と民生委員への適切な情報提供について



ちだ みつこ 千田 美津子

質問 高齢の家族を抱えていれば、介護はいつ必要となるかわかりません。いざという時に頼りになる

介護保険制度であるべきです。しかし昨今、要介護認定にかかる日数が40日を超えています。市としてこの実態をどう把握され、今後どう改善される考えか伺います。

市長 介護認定は30日以内に行わなければならないませんが、申請が今年8月から急増したため、特にも水沢区で遅れています。これらを解消するため、本庁の訪問調査員を現在の4名から5名に増やす等して対応する予定です。

質問 厚生労働省は、来年の通常国会に、介護保険の利用料や保険料の大幅上げやサービスの削減等、介護保険制度の見直し案を検討しています。これらが実施されれば、介護難民が続出するのではないかと考えますが、見解を伺います。

市長 これらは増加する社会保障費を抑制する一つの方策ではありますが、まずは国の責任において国費割合を引き上げることが優先されるべきと考えております。

質問 高齢者福祉充実の上で、民生委員の果たしている役割は大きなものがありますが、訪問する上で、必要な情報が提供されていないと伺いました。民生委員には、守秘義務が課せられており、過度な個人情報保護の取り扱いと